

# としょかんNEWS 第94号



～新春特大号～

2015年1月14日  
湘北短期大学図書館

## 学生選書ツアー参加者募集

学生選書ツアー【第22弾】を下記の要領で実施いたします。“学生選書ツアー”とは、図書館の利用者である学生自らが図書館にあったらいいと思う本、友達にオススメしたい本を、実際に書店の店頭で手にとって選書するという企画です。また、参加者の皆さんには、店頭で選書をするだけでなく、選んだ本を紹介するポップの作成など展示コーナーをプロデュースしていただきます。ご参加いただいた方には、**湘北ポイント100pt** とさる一ちオリジナル卓上カレンダーをプレゼント！お友達をお誘い合わせの上、是非ご参加ください。



- 日程: 2月4日(水)
- 時間: 10:00～12:00
- 場所: 有隣堂 厚木店

## ● 注意事項

- (1) 選書の時間は限られていますので、下調べをしてから参加してください。事前選んだ本のリストなどを当日持参することをお勧めします。
- (2) 選書ツアー終了後に、それぞれが選んだ本を紹介するポップを2点程度作っていただきます。選んだ本については、特別貸出が可能です(冊数制限なし)。
- (3) 選書冊数は、一人20冊を目安としてください。ただ、厳密に何冊までという決まりがあるわけではありませんので冊数を越えてしまう場合には、ご相談ください。
- (4) マンガや雑誌、シリーズ(多巻)ものは、対象外となります。ケータイ小説、タレント・ミュージシャン・スポーツ選手などの本、ドラマ・映画のノベライズは一人1冊までとなります。同じテーマの本を複数冊購入することはできません。多くの学生さんに利用してもらえるような本を選びましょう。



## ● 申込方法

下記の内容を明記の上、E-mailで [tosh@shohoku.ac.jp](mailto:tosh@shohoku.ac.jp) まで、お申込みください。

申込期限は、**1月26日(月)**までとなります。

詳細については、追って E-mail にてご連絡いたします。

1. 学生番号
2. 氏名
3. 電話番号(携帯)

QRコードを読み取って  
携帯メールからも  
申込みができます！



2014年6月に出張でギリシャのクレタ島(Crete)に訪れた。クレタ島はギリシャの数多くの諸島のなかで最大の島である。面積は日本の兵庫県と同じくらいの大さ、人口は約60万人である<sup>[1]</sup>。ギリシャ本土から飛行機で約1時間の場所にある。クレタ島はヨーロッパ最古といわれるミノア文明(紀元前3,000~1,400年頃)発祥の地といわれる<sup>[2]</sup>。ミノア文明の宮殿跡といわれるクノッソス(Knossos)は、迷宮(ラビリンス)として知られている。

クレタ島の都市、イラクリオの中心に位置する考古学博物館<sup>[3]</sup>に今回初めて立ち寄った。当博物館ではクノッソスで発見された壁画や像、装飾品、浴槽、棺など数多くの出土品が展示されている。迷宮の模型も展示されている。

館内の展示品の様子を図1~図4に示す。このうちクノッソスに関するものが図2と図3である。博物館はフラッシュなしで撮影が許可されている。関係者によると、博物館は改装が頻繁に行われており、今後も改装が行われるとのことである。訪れるたびに新しい出土品を目にすることができるであろう。ヨーロッパ古代文明の一面を垣間見ることができる大変興味深いものであった。ギリシャへ立ち寄るときにはクレタ島に訪れてほしい。

#### 【参考文献】

[1]「地球の歩き方」編集室、地球の歩き方 ギリシャとエーゲ海の島々&キプロス2014~2015年版、株式会社ダイヤモンド・ビッグ社、2013、176-177ページ。

[2]荻野慶記、ギリシャを巡る、中公新書、2004。

[3]”Heraklion Archaeological Museum”. Ministry of Culture and Sports, [http://odysseus.culture.gr/h/1/eh151.jsp?obj\\_id=3327](http://odysseus.culture.gr/h/1/eh151.jsp?obj_id=3327) (2015年1月13日閲覧)



図1 数々の出土品



図2 壁画その1



図3 壁画その2(レプリカ)



図4 ビジネスボード(ゲームの一種)

#### 【連載】館長閑話(15)映画「バンクーバーの朝日」を観て、「KAN0」を思う 館長 野口周一

今年の元旦、厚木は雪化粧したとのこと。私の郷里・群馬県高崎市は関東平野の西北端に位置するものの、晴れて穏やかな日和であった。お昼前に市内の神社に初詣でに行き、夕方に着く娘家族を待つ間に、高崎駅近くの映画館で「バンクーバーの朝日」を観た。

この映画の舞台はカナダ、日本と米英間に暗雲が立ち込めていた時代。日系移民2世を中心とする野球チーム”バンクーバー朝日軍”

の若者たちが、人種差別と低賃金の肉体労働という過酷な現実と直面しながら、大柄な白人チームのパワーにバントや盗塁、ヒットエンドランを絡めたスモールベースボールで挑み、ついには西海岸の白人リーグの頂点を極める。その活躍ぶりは日系人街の住民のかすかな希望となるのであるが、1941年12月8日(日本時間)の日本軍の真珠湾奇襲攻撃により、日系人たちは敵性外国人として各

地の強制収容所に送られ、チームは消滅したのであった。

私は小学校中学年頃から野球に関心を持ち始めた。世はあげて長嶋茂雄の”読売ジャイアンツ”一色であった。私は長嶋の大学時代の球友・杉浦忠投手の”南海ホークス”ファンとなった。杉浦は1年目27勝12敗、2年目38勝4敗と、華麗なアンダースローで大活躍していた。当時の帽子屋さんで売られていた野球帽は、例外なくジャイアンツのマークがつけられていた。関東地方では致し方ないことだったのである。そのことに落胆する私を気の毒に思ったのか、友人が器用にフェルトでホークスのマークを作ってくれた。小5の時のことである。

その後、中学へ入学した頃から日本野球史に夢中になり、まずは越智正典氏の『ジャイアンツの歴史』(恒文社、1974年)の旧版を読んだと思われる(その本はるか昔に人に貸して、現在手許になく書名の確認もできていない。「本を貸す馬鹿、返す馬鹿」という言葉もある)。その本で、読売ジャイアンツの前身・大日本東京倶楽部がバンクーバーに遠征したことを記憶していた。そうなると対戦相手は朝日に違いない。後年、私は永田陽一氏の『ベースボールの社会史—ジミー堀尾と日米野球』(東方出版、1994年)に出会い、氏の徹底した資料発掘と精査に兜を脱いだ。私ごとき門外漢には手が出せない実証的研究であった。ただジミー堀尾については、ジャイアンツの4番打者と覚えていた。このたび永田氏には『東京ジャイアンツ北米大陸遠征記』(東方出版、2007年)があることを知ったが、入手する時間がなかった。そこにはジャイアンツと朝日の対戦スコアが記録されているはずである。今回はテッド・Y・フルモト著『バンクーバー朝日軍』(東峰書房、2009年)により、第1戦は「3対8で東京ジャイアンツが勝利」「第2戦も朝日軍の得点はわずか1点で完敗」であったことを知るのみである。

昨年、台湾では「KANO」という映画が製作された。日本では今月下旬に「KANO1931 海の向こうの甲子園」として封切られる。日本が台湾を植民地統治していた時代(1895~1945年)、嘉義農林学校は1931、33、35、36年(昭和6、8、10、11)と甲子園球場で開催された全国中等学校優勝野球大会に台湾代表として出場した。31年は初出場で準優勝、「三民族混成」ということで注目された。三民族混成と

は日本人、台湾人、原住民(「原住民族」は現在の台湾政府の正式呼称)からチームが編成されていたことをさす。日本は領台後、それまで清朝時代を踏襲して使用していた「生蕃人」と「熟蕃人」という差別的呼称を改め、前者を「高砂族」、後者を「平埔族」と改称した(1935年)。司馬遼太郎の『台湾紀行』<街道をゆく40>(朝日新聞社、1997年)を紐解くと、「千金の小姐」の項に、この時の遊撃手・上松耕一選手が取り上げられている。上松は台東のプユマ族出身とある(後掲の鈴木明氏はアミ族とする)。

1935年8月20日、嘉義農林は優勝した松山商業に3回戦で対戦、延長10回4-5で惜敗した。最後の1点は、2死1、3塁で東公文投手のボークによる劇的な幕切れによるものだった。その詳細は、鈴木明氏による東へのインタビューで明らかにされている(『高砂族に捧げる』中央公論社、1976年)。東はアミ族の出身である。

テレビ東京は『台湾・高砂族の甲子園』(1992年)を制作している。かつての日本人選手が台東でOB会を開催、球友と再会する内容であるが、番組の中で「高砂族はアメリカにおける黒人」という譬えがあり、東の消息は不明となり、「民族と国境を越え、人間と人間の付き合いだった」という発言があるものの、全編を通じて非常に物悲しい。先にあげた上松耕一は、本名はアジワツ、戦後は陳耕元となり、生涯に三つの名前を持たざるをえなかったのだ。

『朝日新聞』1月6日付夕刊は、トップで「バンクーバー朝日軍 73年ぶり再結成」と伝えている。折りしも、同紙は元旦から「鏡の中の日本 戦後70年」第1部の連載を開始した。その第2回は「問う」と題して、1面に「和の心秘め 米に忠誠」の見出しのもと、ハワイ州第8代知事、日系3世のデービット・イゲ氏の就任式から筆を起している。2面では「日系知事 多様性の重み」「収容の歴史経て向き合う」という見出しにひきつけられる。「取材後記」には、「1世や2世たちは、異国にどう同化するか、一生をかけて悩み、もがいた。自分が変わると同時に、社会も少しずつ変えていく。世界中の移民たちはそう生きている。日本に住み、自らを日本人と確信する日本国籍者が大半を占める国、日本。世界から見ると、それはむしろ特殊なことなのだ」とある(1月3日付)。重い言葉である。

## さぼーち倶楽部、活動報告

図書館サポーター「さぼーち倶楽部」は、現在 SHOHO として活動しています。SHOHO とは、Shohoku Hands-on Office の略で学生がチームを組んで顧客から実際にプロジェクトを受注し、小さな会社を運営するように、自分たちで企画・運営する湘北独自の課外活動です。

主な活動は下記のとおりです。

- ◎ 選書ツアー(夏休み・春休みの年 2 回実施)
- ◎ ミーティング(月 1 回)
- ◎ おすすめ本の紹介・展示、ポップ作成等(毎月)
- ◎ 湘北祭参加(10 月)
- ◎ 図書館総合展ポスターセッション参加(11 月)
- ◎ クリスマスパティー(12 月)
- ◎ ビブリオバトル
- ◎ 他大学との交流 など

### ● クリスマスパティーで、第 8 回ビブリオバトル開催！

さぼーち倶楽部が 12 月 19 日にクリスマスパーティーを行い、さぼーち倶楽部メンバー 6 名と職員 2 名が参加しました。パーティーでは恒例のビブリオバトルを行い、それぞれ持ち寄った本を 5 分間で紹介しました。チャンプ本は同票で 3 冊選ばれました！

#### 第 8 回 ビブリオバトル「チャンプ本」発表！

参加者全員で投票した結果、下記のとおりベスト 3 が決まりました。  
おめでとうございます！

- ★『マイペースのススメー』-S さん(L2)
- ★『鉄道少女漫画』-K さん(C1)
- ★『カラダほっこりホットドリンクレシピ』(596.7/カ)-A さん(E2)



### ● ビブリオバトルとは ~公式ルール~

1. 発表参加者が読んで面白かった本を持って集まる
2. 順番に一人 5 分間で本を紹介する
3. それぞれの発表の後に参加者全員でその発表に関するディスカッションを 2~3 分行う
4. 全ての発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を参加者全員で行い、最多票を集めたものを『チャンプ本』とする  
(※ ビブリオバトル公式ウェブサイト <http://www.bibliobattle.jp/> より)

ビブリオバトルを授業やゼミ、サークル活動等に取り入れてみませんか？  
詳しくは図書館までお問い合わせください。